

# 『在宅リハビリテーションによる 「活動」と「参加」の実践報告』

2025年(平成37年)には、団塊の世代(約800万人)が75歳以上となり国民の医療や介護の需要が、さらに増加することが見込まれている。このため、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、地域包括ケアシステムが構築されつつある。地域では、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制(地域包括ケアシステム)の構築を推進されている。その中で、在宅リハビリテーションはすべての領域に関与しており、縦横無尽に駆け回ることによって様々な連携を促進しながら地域包括ケアシステムが一体となって機能することに貢献することが可能である。本フォーラムの趣旨は、地域包括ケアシステムにおいて訪問リハビリテーションがいかに関与し「活動」「参加」に向けた自立支援へ有用かについて、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の報告から検討していきたいと思っております。

## 講演

「活動」と「参加」へ繋げる  
リハビリテーションへの重要性と課題

## 日時

2015年

11月27日

13:15 ~ 15:45

(受付開始 13:00)

## シンポジウム

『在宅リハビリテーションによる  
「活動」と「参加」の実践報告』

## 会場

東京ビッグサイト

(有明・東京国際展示場)

東展示棟 特設セミナー会場内

**HOSPEX**  
ホスピタリティ Japan 2015

## 参加費

**無料** (定員: 100人)

※どなたでもご参加いただけます

## 訪問リハビリテーションフォーラム 2015 Part2

主催 / (公社) 日本理学療法士協会・(一社) 日本作業療法士協会・(一社) 日本言語聴覚士協会

後援 / (公社) 日本医師会 (公社) 日本看護協会 (公社) 日本リハビリテーション医学会 (一社) 日本在宅医学会  
(一社) 日本訪問リハビリテーション協会 (一社) 全国在宅療養支援診療所連絡会 チーム医療推進協議会

# 在宅リハビリテーションによる 「活動」と「参加」へ向けた実践報告

訪問リハビリテーションフォーラム2015 Prt2

## プログラム

1. 開会式 (13:15~13:20)
2. 講演 (13:20~14:10)  
「活動」と「参加」へ繋げるリハビリテーションへの重要性と課題  
厚生労働省
3. シンポジウム (14:20~15:20)  
『在宅リハビリテーションによる「活動」と「参加」の実践報告』  
理学療法士からの報告（20分：回復期退院直後）  
リハビリフィットネス訪問看護ステーション旭 理学療法士 小幡 匡史  
作業療法士からの報告（20分：生活拡大期）  
気仙沼訪問リハビリステーション 管理者 作業療法士 米田 幸二  
言語聴覚士からの報告（20分：ターミナル）  
浜通り訪問リハビリステーション 言語聴覚士 熊谷 大  
全体討論・まとめ (15:20~15:40)
4. 閉会式 (15:40~15:45)

## お申し込み

定員 100名

- ① 訪問リハビリテーション振興財団ホームページ <http://www.hvrpf.jp/>
- ② HOSPEX Japan 公式ホームページより事前登録を行ってください。  
事前登録入力フォーム（リハビリ・介護セミナー） <https://goo.gl/PKBX2l>
- ③ HOSPEX 公式ホームページ <http://www.jma.or.jp/hospex/ja/top/iryuu.html>

## お問い合わせ

一般財団法人 訪問リハビリテーション振興財団 事務局

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-8-5

Email: [info@hvrpf.jp](mailto:info@hvrpf.jp) TEL: 03-6804-1421